

松阪の景気動向

令和2年1月調査結果

当所では、松阪地域の景気動向を的確に把握し、今後の商工会議所事業活動の参考とすることを目的に、毎年2回（1月と7月）景況調査を実施している。今回、1月実施の調査結果がまとまった。

調査対象

当所会員事業所から任意抽出した970企業を対象に調査を実施し、回答は413企業、回答率42・6%であった。

業種別回答状況

・製造業	23・7%
・建設業	15・3%
・卸売業	5・8%
・小売業	22・0%
・飲食業	4・4%

従業員数別回答状況

・サービス業	20・6%
・交通運輸業	8・2%

① 現況と今後の見通し

(A) 現況

・0～5人	58・1%
・6～20人	24・0%
・21～50人	9・7%
・51～100人	2・9%
・101人以上	5・1%
・未回答	0・2%

現況について

業種	調査時期	良い	やや良い	変わらない	やや悪い	悪い	DI値
製造	R2年1月	2.0	4.1	43.9	39.8	9.2	△42.9
	R1年7月	3.3	7.8	45.6	30.0	13.3	△32.2
建設	R2年1月	0.0	19.0	47.6	27.0	6.3	△14.3
	R1年7月	1.7	20.3	57.6	16.9	3.4	1.7
卸売	R2年1月	0.0	8.3	29.2	45.8	16.7	△54.2
	R1年7月	0.0	17.6	44.1	32.4	5.9	△20.7
小売	R2年1月	0.0	11.0	25.3	44.0	19.8	△52.8
	R1年7月	1.2	5.8	40.7	32.6	19.8	△45.4
飲食	R2年1月	0.0	16.7	22.2	50.0	11.1	△44.4
	R1年7月	0.0	23.8	33.3	28.6	14.3	△19.1
サービス	R2年1月	5.9	14.1	40.0	27.1	12.9	△20.0
	R1年7月	0.0	18.4	48.7	22.4	10.5	△14.5
交通運輸	R2年1月	2.9	11.8	50.0	29.4	5.9	△20.6
	R1年7月	5.9	23.5	41.2	20.6	8.8	0.0
総合計	R2年1月	1.9	11.4	38.3	36.1	12.1	△34.9
	R1年7月	1.8	14.3	45.8	26.5	11.8	△22.2

※DI値（現況判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

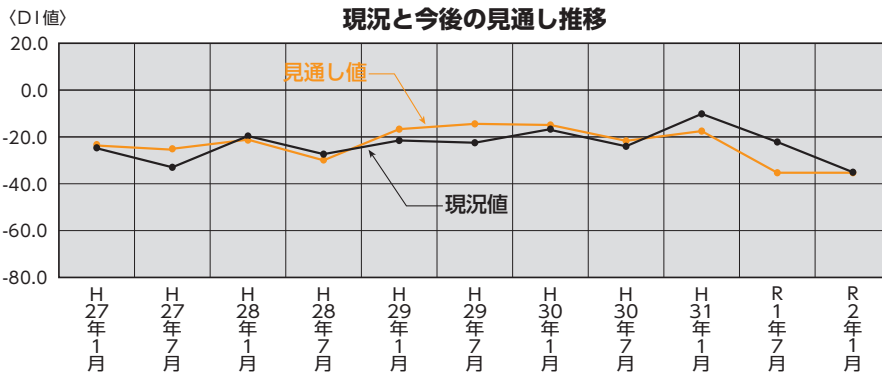
全体では「良い」「やや良い」が13・3%（前回16・1%）、「やや悪い」「悪い」が48・2%（前回38・3%）となり、DI値は△34・9で、前回（△22・2）より12・7ポイント悪化した。業種別のDI値は全ての業種で悪化した。

(B) 今後の見通し

全体では「良い」「やや良い」が9・4%（前回9・5%）、「やや悪い」「悪い」が44・6%（前回44・8%）となり、DI値は△35・2で、前回（△35・3）とほぼ横ばいとなった。業種別のDI値は小売業と交通運輸業

今後の見通し

業種	調査時期	良い	やや良い	変わらない	やや悪い	悪い	わからない	DI値
製造	R2年1月	1.0	5.1	43.9	32.7	10.2	7.1	△36.8
	R1年7月	1.1	7.8	36.7	34.4	13.3	6.7	△38.8
建設	R2年1月	1.6	14.3	42.9	25.4	6.3	9.5	△15.8
	R1年7月	1.7	8.5	50.8	25.4	5.1	8.5	△20.3
卸売	R2年1月	0.0	8.3	37.5	37.5	8.3	8.3	△37.5
	R1年7月	0.0	8.8	38.2	47.1	5.9	0.0	△44.2
小売	R2年1月	0.0	4.4	27.5	42.9	17.6	7.7	△56.1
	R1年7月	0.0	8.1	27.9	34.9	24.4	4.7	△51.2
飲食	R2年1月	0.0	16.7	16.7	38.9	16.7	11.1	△38.9
	R1年7月	0.0	0.0	28.6	38.1	14.3	19.0	△52.4
サービス	R2年1月	1.2	14.1	37.6	25.9	9.4	11.8	△20.0
	R1年7月	1.3	7.9	46.1	22.4	10.5	11.8	△23.7
交通運輸	R2年1月	0.0	2.9	41.2	35.3	11.8	8.8	△44.2
	R1年7月	2.9	17.6	41.2	29.4	8.8	0.0	△17.7
総合計	R2年1月	0.7	8.7	37.0	33.2	11.4	9.0	△35.2
	R1年7月	1.0	8.5	38.8	31.8	13.0	7.0	△35.3



② 売上状況と利益状況

は悪化したが、それ以外の全ての業種で改善を見通している。

(A) 売上状況
全体では「増加」「やや増加」が16.4%（前回21.1%）、「やや減少」「減少」が49.1%（前

回44.1%）となり、DI値は△32.7で、前回（△23.0）より9.7ポイント悪化した。業種別のDI値はサービス業で改善したが、それ以外の全ての業種で悪化した。

(B) 利益状況
全体では「増加」「やや増加」

③ 販売条件・仕入条件

(A) 販売条件
全体では「好転」「やや好転」は7.2%（前回7.8%）、「やや悪化」「悪化」は27.3%（前回27.8%）、DI値は△20.1で、前回（△20.0）とほぼ横ばいとなった。業種別のDI値は建設業で改善、小売業、サービス業でほぼ横ばい、それ以外の全ての業種で悪化した。

(B) 仕入条件
全体では「好転」「やや好転」は3.3%（前回3.8%）、「やや悪化」「悪化」は27.2%（前回26.3%）となり、DI値は△23.9で、前回（△22.5）より1.4ポイント悪化した。業種別のDI値は製造業、卸売業で改善したが、それ以外の全ての業種で悪化した。

が13.3%（前回14.6%）、「やや減少」「減少」が51.4%（前回44.5%）、DI値は△38.1で、前回（△29.9）より8.2ポイント悪化した。業種別のDI値は、サービス業でほぼ横ばい、それ以外の全ての業種で悪化した。

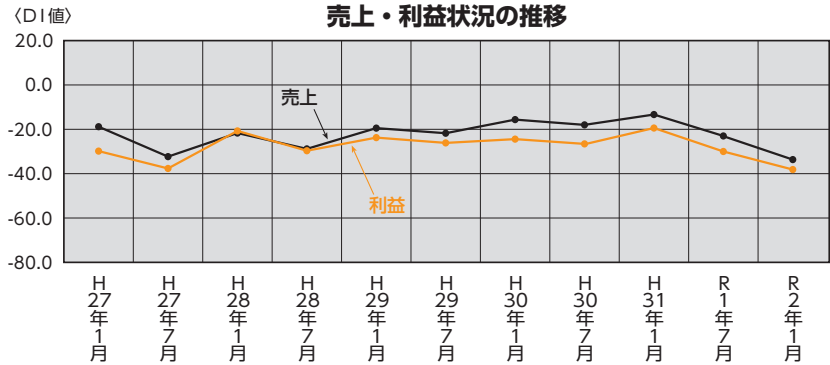
④借入について

(A) 現状 (図1)
 回答企業413社のうち、借入を実施した企業は178社、43・1% (前回161社、40・3%)であった。

(B) 予定 (図2)
 全体では、回答企業413社のうち、借入を予定している企業は75社18・2% (前回87社、21・8%)であった。

(C) 使途予定 (図3)
 全体では、借入を予定している企業のうち、「運転資金」60・0% (前回58・6%)、「設備資金」は33・3% (前回34・5%)、未回答6・7%であった。

売上・利益状況の推移

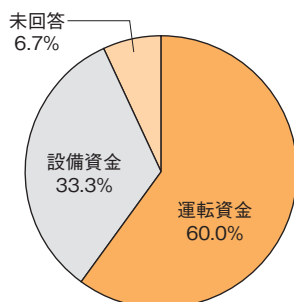


経営上の問題点 (3項目以内複数回答)

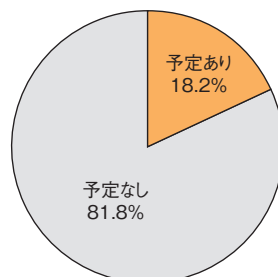
業種	第1位	第2位	第3位
製造業	売上・受注の停滞減少 (50.0%)	人材育成 (31.6%)	人手不足 (30.6%)
建設業	人手不足 (52.4%)	売上・受注の停滞減少 (47.6%)	人材育成 (36.5%)
卸売業	売上・受注の停滞減少 (50.0%)	人材育成 (33.3%)	設備店舗の狭小老朽化 (25.0%)
小売業	売上・受注の停滞減少 (62.6%)	競争激化 (33.0%)	人手不足 (27.5%)
飲食業	売上・受注の停滞減少 原材料高及び不足 (33.3%)	設備店舗の狭小老朽化 (27.8%)	人手不足 競争激化 (22.2%)
サービス業	人手不足 (41.2%)	売上・受注の停滞減少 (38.8%)	競争激化 (21.2%)
交通運輸業	人手不足 (67.6%)	人件費の増加 (35.3%)	売上・受注の停滞減少 (32.4%)
総合	売上・受注の停滞減少 (47.9%)	人手不足 (37.3%)	人材育成 (24.5%)
前回	売上・受注の停滞減少 (43.3%)	人手不足 (38.0%)	競争激化 (25.5%)

※ 3項目以内選択

借入資金の使途予定 (図3)
(R2.1~R2.6)



借入の予定 (図2)
(R2.1~R2.6)



借入の現状 (図1)
(R1.7~R1.12)

